

共に支え 共に育つ

農業を障害者の働く場として活用する「農福連携」が各地で広がつつある。後継者のいない農家は全国で7割を超え、耕作放棄地は富山県の面積とほぼ同じ約4200平方キロに及ぶ。一方、

授産施設で働く障害者の賃金(工賃)は、平均で月額1万5000円程度だ。担い手不足に悩む農業と、低賃金に悩む福祉。両サイドがタッグを組み課題を乗り越えようとする現場を訪れた。

鹿児島・南大隅 花の木農場

加工、販売で高収益化

九州本土の最南端、ばきで新芽を刈り取るけど、おいしいお茶の10倍の敷地で働き、鹿児島県南大隅町。県内でも高齢化が進む人口7000人余りの静かな町に、知的障害者らが働く「花の木農場」はある。深緑が一和さん(56)は「習得するまで、農事組合の手つきで小屋を清らさなければならぬ」と言わぬ。深緑が一和さん(56)は「習得するまで、農事組合の手つきで小屋を清らさなければならぬ」と言わぬ。深緑が一和さん(56)は「習得するまで、農事組合の手つきで小屋を清らさなければならぬ」と言わぬ。

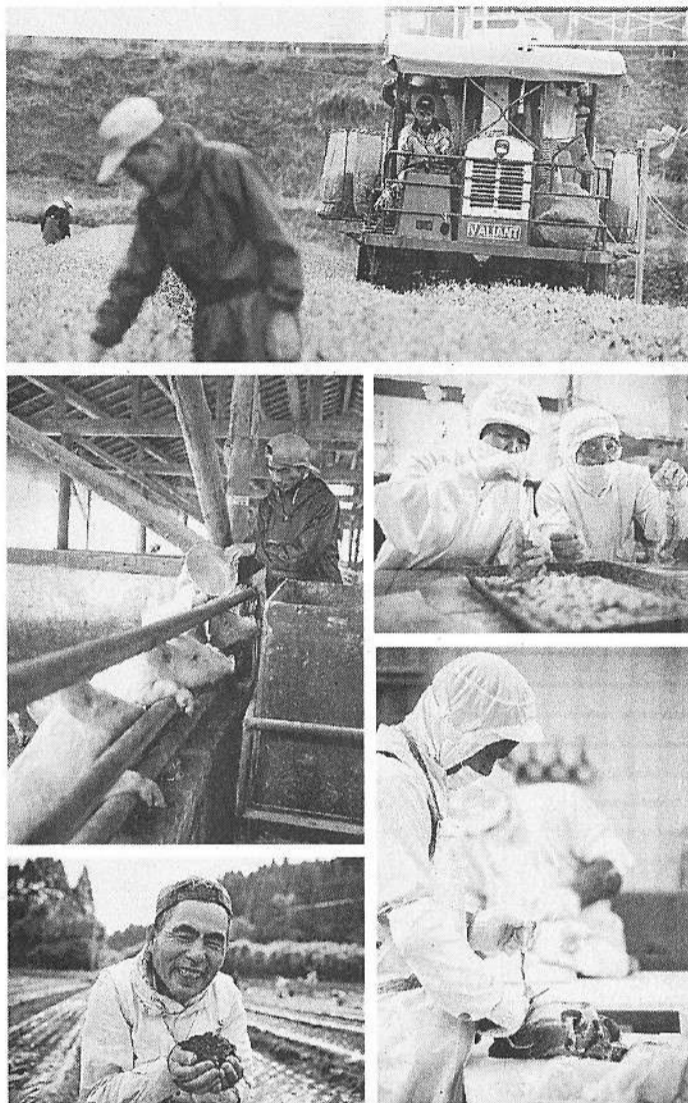
農福連携



茨城・つくば ごきげんファーム

必要とされる存在に

茨城県つくば市の「ごきげんファーム」が運営する。筑波大生を栽培。約350世帯な生活だったが、農業宅地を利用する福田咲菜セットの生産に精神元市議のインタビューに、障害者らが励む。伊藤文弥代表(30)は「地域耕作放棄地の増加と障



茶畑で摘採機に乗る迫勇則さん(写真上)、養豚小屋で餌を与える男性(写真2段目左)、作業所でラスクを作る女性ら(写真2段目右)、加工場で豚肉を切り分ける男性(写真下右)、ニンニク畑で土を手にする男性(写真同左)＝10月16、17日、鹿児島県南大隅町

弘果総合食品センター

弘果総合食品卸売組合 ☎27-4990
会長 山田明宏

青果物 山口青果 ☎27-5362	包装・資材 桜紙業包装用品(株) ☎27-1607
一般食料品・鮮魚・塩干 山崎商店 ☎27-7621	包装用品 (株)小林紙工 ☎27-7463
一般総合商品 中村食品 ☎27-5439	菓子 (有)マルフジ商店 ☎26-0834
加工食品・乾物 (株)カネ徳対馬商店 ☎27-2367	食堂 清竜苑 ☎27-5423
総菜・鶏卵 (有)マルニ猪股 ☎27-5424	青果卸 (株)りんごや ☎28-0910
納豆ほか 太子食品工業(株) ☎27-1608	

弘果青果仲卸組合 会長 安田清一
東日流青果(株) 共栄青果(株)

2019年 迎春

初市 1月5日

5時45分～	水産
6時30分～	青果
7時30分～	津軽りんご市場
8時45分～	りんご
10時00分～	花き

地域社会の 弘果 グル
今年も相変わらず お願い申し